

中小企業の 脱炭素化を支援

— 脱炭素推進協会の活動紹介 —



株式
会社

長谷川電気工業所

会社紹介



株式
会社

長谷川電気工業所

所在地（本社） 新潟県村上市坂町 1 7 6 0 番地 1

創業年月 昭和 2 1 年 6 月

会社設立 昭和 2 6 年 6 月

代表取締役社長 長谷川 雄一

事業内容 エネルギーサービス業



会社紹介

80年 にわたる「電気・設備工事」

の実績と経験

- 現場調査
- 企画・設計
- 施 工



20年 にわたる「省エネ・再エネ工事」

の実績と経験

- 自社開発の省エネシステム
- 省エネ型機器更新



エネルギー・サービス業 を展開

- エネルギー・脱炭素に関する調査
- 削減CO₂のクレジット化
- 省エネ・再エネ設備の設計・施工・メンテナンス
- 補助金活用・サポート



地域の脱炭素化を技術で支援

施工実績 電気・設備工事



公共施設

工事名 胎内市総合体育館（電気設備工事）



医療・福祉施設

工事名 健康医学協会 新潟健診プラザ（電気設備工事）



工場施設

工事名 新潟ジャムコ（新築電気設備工事）

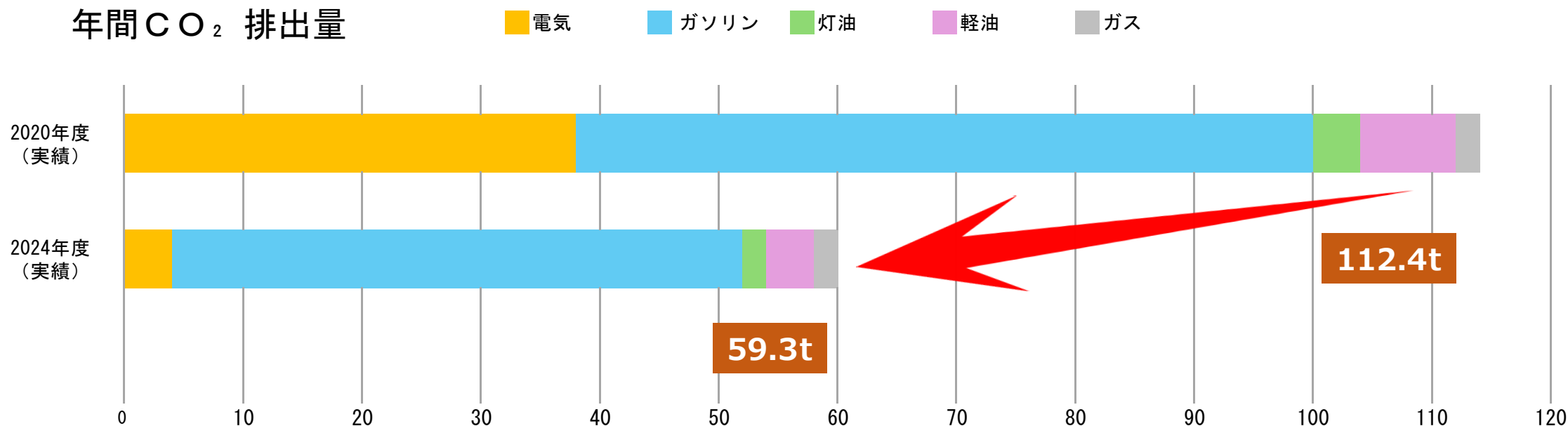


ダム・ゲート

工事名 大石ダム堤体内照明設備更新工事

弊社の脱炭素への取組み

削減するために「太陽光発電の導入」と「CO₂ ゼロ電力の利用」を開始



取組みを開始した2020年度と直近の2024年度を比較

CO₂ 排出量は、52.8%の削減を実現しました。

削減にもっとも影響を与えたのが、**太陽光発電**によるもので
同時に電気代も大幅に削減することができました。

取組みに対する評価

新潟県エコ事業所



令和6年度 新潟県エコ事業所制度に表彰



J-クレジット制度とは

J-クレジット制度は、企業や自治体などの取組みにより削減されたり、森林管理等で吸収した **C O 2 をクレジット** として国が認証し、売買できるようにした制度です。

《例えば》大企業の中には、国からの削減目標に対して足りない削減量を J-クレジットを購入して自社の C O 2 削減分として扱い、報告に取り入れています。

J-クレジットの種類

1、省エネクレジット

高効率ボイラーの導入、照明設備の入れ替えなど

2、再エネクレジット

太陽光発電設備、水力発電設備、風力発電設備の導入

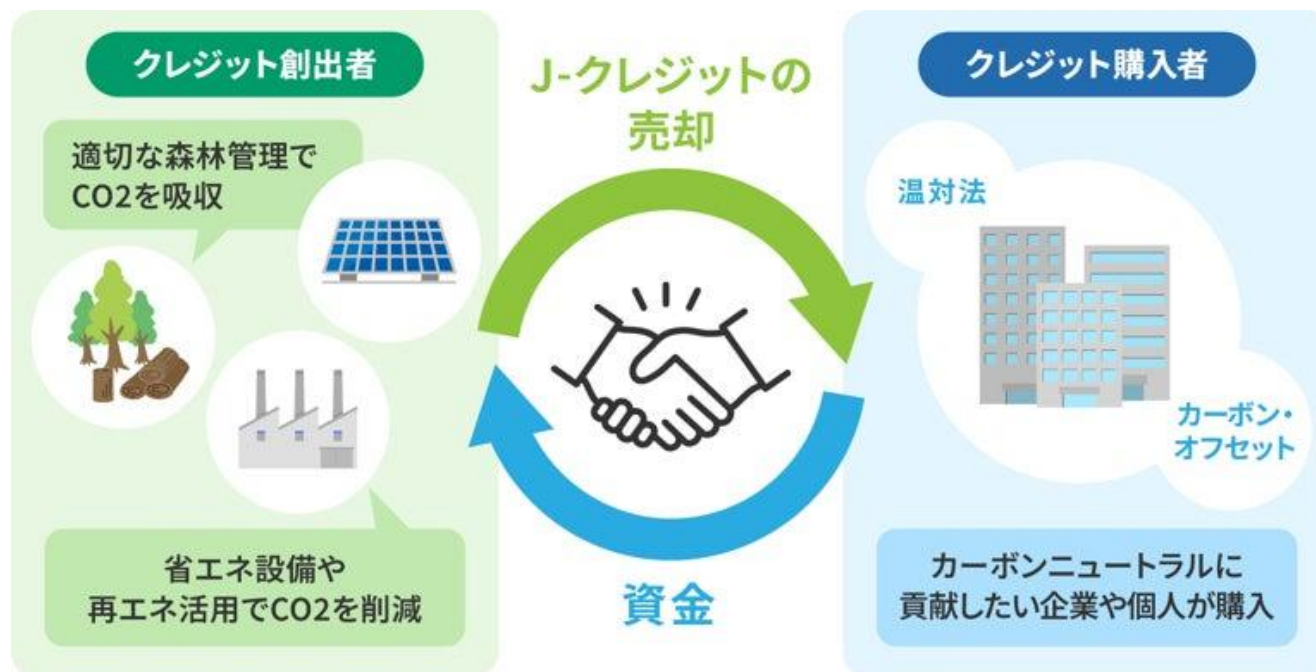
3、森林クレジット

間伐による森林の適切な保全、植林活動

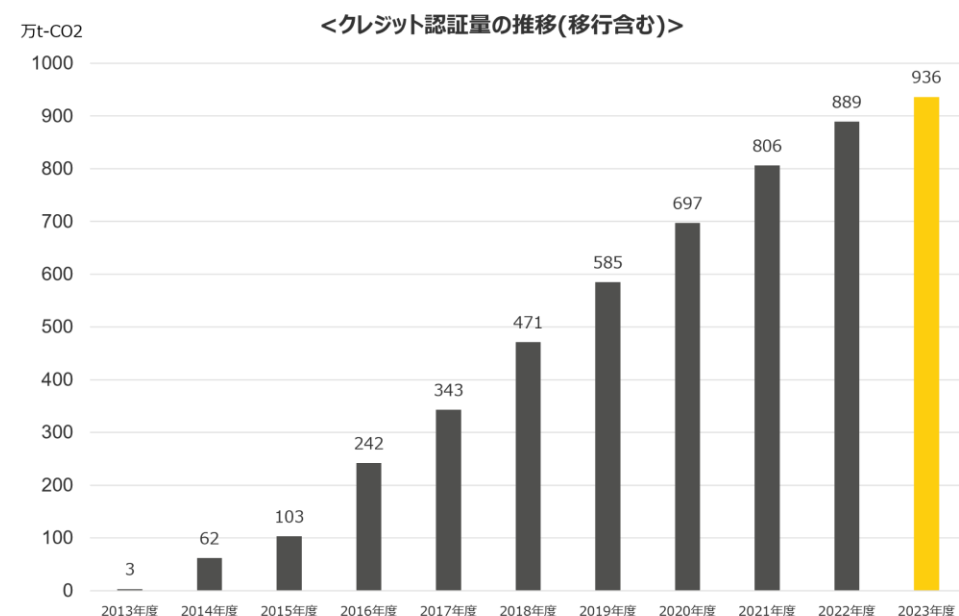
※CO₂の吸収量から算出

仕組みと認証量

仕組み



認証量



出典：J-クレジット制度について(データ集)より筆者作成

原則8年間クレジット化できます（延長可能）

J-クレジット参加方法

- 温室効果ガス排出削減・吸収事業を実施しているor計画している
- 制度事務局に相談する
- 支援内容、支援対象を確認する
- プロジェクトを登録する
- モニタリング（燃料使用量等の計測）を実施する
- モニタリング報告書を作成し、クレジットの認証を受ける
- 認証されたクレジットを活用する（売却/オフセット）

J-クレジットのメリット

クレジット創出者

- ・ランニングコストの低減
- ・クレジット売却益
- ・地球温暖化対策への取り組み
に対するPR効果
- ・新たなネットワークの構築
- ・組織内の意識改革・社内教育

クレジット購入者

- ・環境貢献企業としてのPR効果
- ・企業評価の向上
- ・製品・サービスの差別化
- ・ビジネス機会獲得/
ネットワーク構築

クレジット価格について

カーボン・クレジット市場日報
2022年10月31日

制度名	分類名	方法論名	参考価格	始値	翌日 参考価格
J-クレジット	省エネルギー	(指定なし)	800	-	800
J-クレジット	再生可能エネルギー	(指定なし)	2,500	-	2,500
J-クレジット	工業プロセス	(指定なし)	1,600	-	1,600
J-クレジット	農業	(指定なし)	50,000	-	50,000
J-クレジット	廃棄物	(指定なし)	1,600	-	1,600
J-クレジット	森林	(指定なし)	16,000	-	15,000
J-クレジット	混合型	(指定なし)	1,600	-	1,600

カーボン・クレジット市場日報
2026/05/29

制度名	分類名	方法論名	銘柄コード	【基準値段】 値段	【基準値段】 日付	【基
J-クレジット	省エネルギー	(指定なし)	1001000	4,899	2026/05/29	セ
J-クレジット	再エネ（電力）	(指定なし)	1002000	4,899	2026/05/29	セ
J-クレジット	再エネ（熱）	(指定なし)	1003000	5,499	2026/05/29	セ
J-クレジット	再エネ（混合）	(指定なし)	1004000	1,990	2026/05/29	セ
J-クレジット	森林	(指定なし)	1005000	4,700	2026/05/29	セ
J-クレジット	再エネ（電力：木質バイオマス）	(指定なし)	1006000	5,000	2026/05/29	セ
J-クレジット	農業（中干し期間の延長）	(指定なし)	1007000	5,374	2026/05/29	セ
J-クレジット	農業（バイオ炭）	(指定なし)	1008000	40,000	2026/05/29	セ
J-クレジット	その他	(指定なし)	1099000	1,150	2026/05/29	セ

2022年10月31日と比較し

195.9% 増加

※ J-クレジット制度の認知度が上がったこと、CO₂削減量をクレジットとして必要とする企業の増加により価格が上昇

脱炭素推進協会の目的

「中小企業の脱炭素化支援」



【中小企業がJ-クレジット制度を活用する際の課題】

- ・ 手続きが複雑で時間を要する
- ・ 申請費用が大きい
- ・ 採算が取りづらい



※ 2024年 2月14日 脱炭素推進協会 発足

会員企業のCO₂削減量をまとめてクレジットの創出から売却までを代行し、その収益を還元する体制を整備。

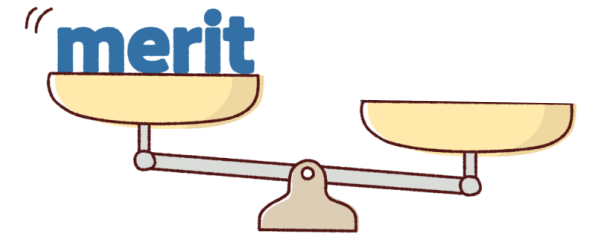
脱炭素推進協会の取組み

【活動内容】

- ・ C O 2 削減量の集計
- ・ クレジット認証申請
- ・ クレジットの売却
- ・ 売却益の還元
- ・ クレジットによる社会貢献

【会員メリット】

- ・ 入会金、年会費不要
- ・ 入会手続きのみで簡単
- ・ C O 2 削減量の可視化による社内の環境意識の向上
- ・ 売却益は 8 年間継続（延長あり）

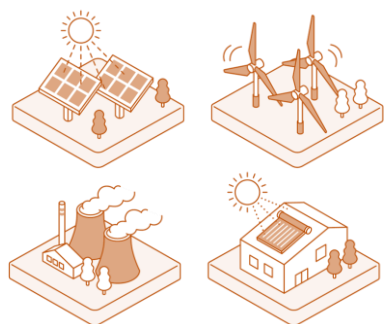


仕組み

会員
企業

J-クレジット
創出者

再エネ設備でCO2削減



設備情報
発電データ



売却益



脱炭素推進協会

J-クレジット



売却益



企業
など

J-クレジット
購入者

温対法・省エネ法の報告



CDP・SBT・RE100
など



計画書
報告書

審査機関

認証

認証委員会

会員企業の声



株式会社
エコ・プロジェクト

代表取締役
高橋 朋弘 様



- 📢 削減したCO₂が、収益化できるとは知りませんでした。
- 📢 入会金・年会費が不要で、リスクなく始めることができました。
- 📢 最初、設備情報などの共有はありましたが、その後は全て
お任せしています。
- 📢 8年間継続することができ、将来的なクレジット価値の
高まりにも期待しています。

現在の取組状況



- ・ 2 回目のクレジット認証に向け集計・審査準備中
申請予定クレジット量は、**前回の 3 倍以上となる
2,000 t -CO₂を見込んでいます**
- ・ 会員数は随時拡大しており、県内外の企業から
多くのお問い合わせをいただいております
- ・ 「クレジットを購入したい」という企業などからも、
お問い合わせもいただいております

J-クレジットの活用事例

創出したクレジットで **38回目となる2025年**の NIIGATA光のページェントをオフセット



今後の活動

- ・ 年1回のクレジット申請
- ・ 新規会員の拡大（県内外より）
- ・ クレジットを用いた社会、地域貢献活動
- ・ 会員向け脱炭素セミナーの開催 など

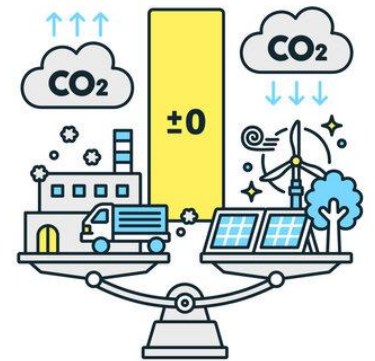
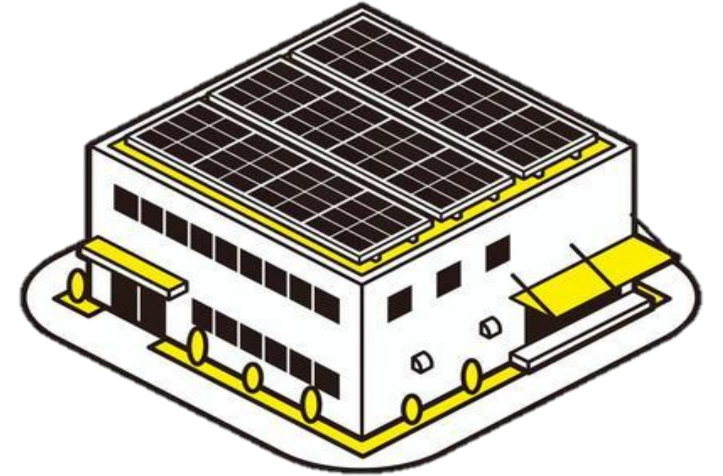


以上のような活動を通じて「中小企業の脱炭素化」を支援してまいります。

脱炭素推進協会へのご入会をお待ちしております。

脱炭素推進協会の入会条件

- ✓ 自家消費型太陽光発電設備であること
(P C S 容量 3 0 kW 以上)
- ✓ 発電開始後 2 年以内
- ✓ 環境省の補助金を活用していない
- ✓ カーボンニュートラル行動計画に参加していない



など

PVプランナー協会会員様の活用方法

1.既存顧客提案

2.新規顧客提案

3.メリット

4.クレジットの試算

既存顧客提案

既存顧客のメリット

- 継続的な収入源の確保（原則8年間）
- 太陽光発電設備の維持管理費に充当
- クレジット売却益を新たな事業活動に活用可能（福利厚生、新たなSDGs活動 等）

PVプランナー協会会員様のメリット

- 既存顧客との継続した関係性の構築
- メンテナンス対応や太陽光発電設備の増設など案件獲得のチャンス

新たなサービスとしての提案

新規顧客提案

新規顧客メリット

- 太陽光発電による電気代削減＋クレジット売却による収益
- J-クレジットに取り組んでいるという対外的PR効果

PVプランナー協会会員様のメリット

- 太陽光発電＋環境価値のセットによる脱炭素経営支援
- 同業他社との差別化
- 案件受注後お客様と継続した関係性の構築

他社との差別化により選ばれる太陽光業者へ

PVプランナー協会会員様のメリット

- 地域の脱炭素化を支援する太陽光業者として、
自社のブランディングに活用
- クレジットを通じた**地域貢献・社会貢献**を行う
企業としてPR
- 案件紹介による手数料収入
- お客様へ**他社との差別化**により選ばれる太陽光業者へ

クレジットの試算

【試算条件】	
PCS容量	300kW
自家消費率	90%
発電量	1,000kWh/kW
CO2排出係数	0.423kg-CO2/kWh
クレジット価格	4,900円/ t
【試算結果】	
自家消費量	$300(\text{kW}) \times 1,000(\text{kWh/kW}) \times 90(\%) = 270,000(\text{kWh})$
クレジット量	$270,000(\text{kWh}) \times 0.423(\text{kg-CO}_2) / 1,000 \div 114.2(\text{t})$
想定クレジット売却額	$114.2(\text{t}) \times 4,900(\text{円/t}) = 559,580(\text{円})$
会員企業還元額(50%)	$559,580(\text{円}) \times 50(\%) = 279,790(\text{円})$
パートナー企業様手数料(10%)	$559,580(\text{円}) \times 10(\%) = 55,958(\text{円})$

パートナー企業様の声



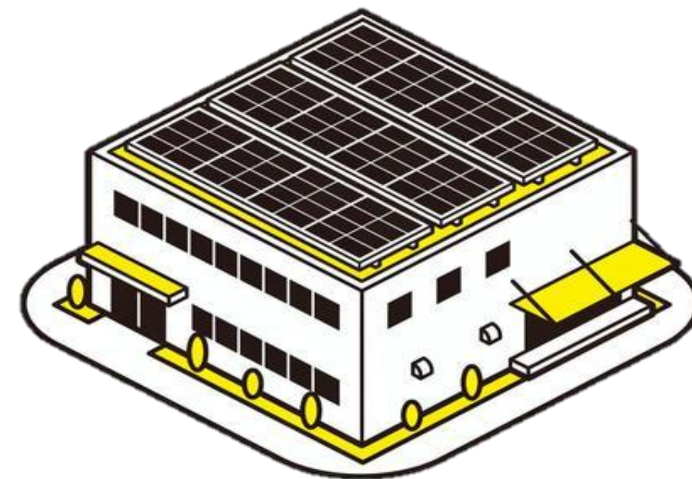
本社：福島県田村市

- 当社は地域に根差した企業として、地域貢献・社会貢献の観点から、過去に提案・施工したお客様へ「J-クレジット」をご紹介いたしました。
- 集計から認証申請、売却まで脱炭素推進協会で行っていただき、当社は手間なく取り組むことが出来ました。
- お客様へJ-クレジットの情報提供を行ったことにより、更なる関係性の構築を図ることが出来ました。

パートナー企業の条件

- ✓ 自社で施工、提案したお客様をご紹介いただけること
- ✓ 認証申請に必要な情報収集にご協力いただけること

など





脱炭素推進協会

お気軽にお問合せ下さい

☎ 025-243-9561

✉ info@datсутанso-kyokai.com

担当 長谷川

ホームページを
ご覧ください

